

## 令和3年度 事業実施報告書

- 1 社協体質の強化を図るため、自主財源である会員会費の拡充に努め、町民の福祉意識の昂揚をはかった。

会員会費	一 般	3, 1 6 8 口	1, 5 8 4, 0 0 0 円
	法 人	8 口	8 0, 0 0 0 円
	計		1, 6 6 4, 0 0 0 円

- 2 各種募金活動推進のため募金運動意識の昂揚をはかり、区長・自治会長、民生委員、福祉委員、学校及び各種団体・個人の援助協力を得て、目標額達成に努めた。

(1)	日赤募金		1, 7 6 9, 8 0 0 円
	① 各地区		1, 6 0 5, 8 0 0 円
	② 個人(2名)		1 3 0, 0 0 0 円
	③ 義援金(1団体)		3 4, 0 0 0 円
	(令和3年7月大雨災害義援金)		
(2)	共同募金		2, 5 6 8, 2 3 5 円
	① 戸別募金		1, 9 5 0, 1 6 5 円
	② 街頭募金		0 円
	③ 職域募金		4 2, 4 4 0 円
	④ 歳末たすけあい募金	5 7 件	5 7 5, 6 3 0 円

- 3 福祉行政と民間福祉活動の連携を密にし、老人福祉の推進に努めた。

- (1) 地域包括支援センター事業(町委託事業)
- ① 総合相談事業(介護における相談・1, 2 1 6 件)
  - ② 介護予防ケアマネジメント事業  
(介護予防・延べ884件)  
(通所型・訪問型サービスのみ利用者)  
(介護予防・ハツラツ教室10名参加5回開催)  
(要支援認定者)
  - ③ 権利擁護事業  
(成年後見制度に関する相談・12件)
  - ④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業  
(高齢者の自立支援・自立支援型ケア会議3回)  
(プランナーに対し専門職がアドバイスする)
  - ⑤ 地域ケア会議の推進

(地域困難ケースや地域資源開発に取り組む・地域ケア会議年12回)  
(関係機関職員、その他)

- ⑥ 認知症施策の推進 3-(2) 包括的支援事業②に記載
- ⑦ 在宅医療・介護連携の推進 3-(2) 包括的支援事業③に記載
- ⑧ 指定介護予防支援事業及び介護予防マネジメント  
(介護サービス利用・延べ1498件)(要支援認定者)

## (2) 包括的支援事業(町委託事業)

### ①生活支援体制整備事業

#### 1) 見守り支え合う地域づくりの創出

高齢者の生活支援ニーズに対応するため生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活の支援体制の充実・強化及び、高齢者の社会参加を一体的に図ります。

##### ア) 生活支援体制整備事業勉強会

町担当者、コミセン地域づくりコーディネーター対象

##### イ) 地域づくり講演会・・・中止

##### ウ) お宝発表会・・・中止

#### 2) いきいきふれあいサロン事業

年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも気軽に作歌することのできるサロン(通いの場)を地域住民が自主的に運営する活動を支援します。

##### ア) 地区交流サロンへの支援

##### ・いきいきふれあいサロン

坂下地区:4件、若宮地区:4件、金上地区:1件

川西地区:1件、八幡地区:2件、高寺地区:1件

##### ・サロン講師派遣 14回

3B体操・運動講師・地域教育コーディネーター・

警察署出前講座 町出前講座・しめ縄作り講師

##### イ) 通信の発行 年2回(サロン活動紹介)

### ②認知症総合支援事業

#### 1) 家族等支援

##### ア) 認知症初期集中支援チーム員会議 6回

医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、保健師等で構成されたチームで、認知症本人や家族に早期に関わり、医療や必要な支援につなぐための支援を検討した。

##### イ) 認知症初期集中支援活動 102件

認知症初期集中支援チーム員会議等で検討された内容に応じて、実際に訪問や面談等の支援活動を行った。

- ウ) 認知症当事者・家族の相談や支援 203件
- 2) 支援体制の整備
  - ア) 認知症サポーター養成講座 0回  
依頼に応じて認知症についての勉強会を開催。地域住民が認知症に関する正しい知識を身につけることで、認知症になっても暮らしやすい、支え合いの地域づくりを目指した。
  - イ) 認知症カフェの開催 6回  
認知症本人、介護している家族同士、その他認知症に関心のある方、誰もが交流できる場の提供を行った。(毎月第2火曜日)
  - ウ) 警察、金融機関との連携 17回  
関係機関と連携し、認知症等により生活に困難さがあるが、なんらかの理由でうまく支援につながっていない方の早期発見や、支援介入を目指した。
  - エ) 一人歩きリストの運用、一人歩き高齢者向けグッズの作成  
(現在登録者11件)  
認知症により一人歩きや迷子の心配がある方についての情報を、警察署や町と共有。また、本人が身に着けるグッズを作成配布。認知症になっても、住み慣れた地域で暮らしていくための支援を行った。

### ③在宅医療・介護連携推進事業

- 1) 世話人会の開催 8回(内、2回書面報告、1回ZOOM会議)  
会津坂下町における在宅医療・介護連携推進事業の推進を効果的に図るため、調査研究を行い有識者より意見を集め活動に反映させた。
- 2) 新型コロナウイルス感染防止講習会開催 2回(参加者16名)  
医療・介護の仕事に携わる多職種間で顔の見える関係をつくり、連携強化を図る。コロナ禍であり、多職種連携セミナーが開催できなかったため介護事業所向けに感染防止対策講習会を開催した。
- 3) 家庭でできるコロナ対策の講話  
4回(認知症カフェ、民生児童委員役員会、サロン 計40名)  
住民が在宅介護に関心を持ち、自分や家族が要介護状態になった時のイメージが持てるよう努める。コロナ禍であり、住民向け講演会を開催できなかったため、住民が集まる場でコロナ対策について講話した。

#### 4) 連絡会の事務局 3件

より連携を深めたいと考えている職種をつなぎ、スキルアップや課題解決を図るために意見交換の場を設けた。

デイサービス・小規模多機能連絡会	4回（内、1回書面報告）
グループホーム・小規模多機能連絡会	2回
居宅管理者会	2回

#### 5) 広報活動

住民、医療・介護の関係機関の方に在宅医療・介護について関心を持たせるよう広報に努める。社協のホームページに事業の活動内容を掲載した。

### (3) 高齢者生きがい事業

#### ① 訪問給食事業

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし高齢者・高齢者世帯
- ・実施内容 見守り訪問を兼ねたお弁当の配達
- ・配食サービス 1, 254件

#### ② 寝具乾燥消毒サービス事業

- ・対象者 65歳以上で在宅の寝たきり高齢者  
(障がいによる寝たきりは除く)
- ・実施内容 寝具の洗濯・乾燥・消毒の助成(年1回)
- ・利用実績 17件

#### ③ 在宅高齢者軽度生活援助事業

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者世帯(非課税世帯)
- ・実施内容 家事補助等の軽作業
- ・利用実績 0件

#### ④ 日常生活用具給付貸与事業(緊急通報システム)

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし高齢者等
- ・実施内容 緊急通報システムの貸与
- ・利用実績  
アイネット 20件  
アルソック 15件  
合計 35件

- ⑤ 敬老会の開催
  - ・コロナ禍のため中止
- ⑥ 戦没者追悼式の開催
  - ・コロナ禍のため中止
- ⑦ 金銀交流サロンの管理
  - ・サロン利用者 延べ 394名

(4) 民生児童委員協議会事務局の受託

民生児童委員 65名・主任児童委員 3名 計68名

役員会 全7回

全体研修会 1回（会津坂下警察署職員による講話）

DVD研修会を地区ごとに実施（地域共生社会に向けた委員活動について）

(5) 福祉団体育成 7団体 事務局担当

- ① 民生児童委員協議会 ② 町老人クラブ連合会 ③ 町遺族会
- ④ 河沼遺族連合会 ⑤ 町ボランティアセンター ⑥ 赤十字奉仕団
- ⑦ 会津地方民生委員会長連絡会

(6) ボランティアセンターの運営

①各種研修会及びボランティアフェスティバル等への参加

- ・コロナ禍のため中止

②ボランティア派遣事業の推進（傾聴ボランティア等）

- ・学習ボランティア

坂下南小・東小の児童を対象に冬休み期間中に開催

ボランティア 11名 参加者 23名

- ・おはなしボランティア 延べ124名

- ・フードドライブ仕分け作業 6名

- ・その他 1団体

(7) 民間事業所との連携

フードバンクの提供

- ・ブイチェーン
- ・COOP あいづ

4 在宅福祉サービス事業を推進します。

(1) クリスマス宅配サービス事業の実施

- ・対象者 75歳以上一人暮らし老人・高齢者世帯等（非課税世帯）
- ・実施内容 クリスマスケーキ等の宅配サービス
- ・実施日 12月24日
- ・配布世帯 176世帯（歳末配分事業分）

(2) 除雪費助成事業の実施（期間：12月から3月）

- ・対象者 75歳以上の一人暮らし老人・高齢者世帯  
全員が身体障がい者世帯等（非課税世帯）
- ・実施内容 除雪費用の助成（歳末配分事業分）
- ・利用実績 延べ 64回
- ・助成額 226,809円

(3) 在宅介護者援護事業の実施

- ・ベッド・車イスの貸与

貸与物品	貸出数	返却数	貸出中	在庫台数
ベッド	1台	2台	25台	2台
車イス	9台	8台	3台	4台

5 地域福祉対策の充実強化を図ります。

(1) 日常生活自立支援事業の推進

あんしんサポート事業（福島県社協委託事業）

- ・生活支援員 3名
- ・支援対象者 4名
- ・援助内容 福祉サービスの利用援助、通帳・印鑑の預り及び管理、各種料金支払の代行等

(2) 福祉関連施設整備助成事業

- ・区・自治会が管理する施設等で活用する器具及び健康増進器具の整備  
3地区へ助成  
中村地区 50,000円（お座敷チェア）  
大上地区 29,800円（お座敷チェア）  
長井地区 50,000円（エアコン）

(3) 高齢者活動支援事業

- ・健康マージャン、出張健康マージャン教室の開催  
健康マージャン 毎週木曜日 参加者 1回あたり 約10名  
出張健康マージャン教室 地区コミセンにおいて1回～2回  
参加者 86名

(4) 地域活動物品貸与事業の実施

- ・ワンタッチテント、そば打ちセット、大なべ・バーナー、テーブル

<貸与物品名>	貸出件数	延日数	保有台数
ワンタッチテント(大)	9件	69日	6台
ワンタッチテント(小)	1件	3日	2台
そば打ちセット	0件	0日	2セット
大鍋・バーナーセット	0件	0日	4セット
テーブル	2件	8日	9脚

6 心のふれあう地域福祉活動の推進を図ります。

心のふれあう福祉の町づくりの推進

- ・対象者 70歳以上の一人暮らし高齢者
- ・実施内容 お弁当配布
- ・開催日時 11月24日(水)
- ・配布世帯 268世帯

7 心配ごと相談所運営体制の強化を図ります。

弁護士来所による相談会の開催(年6回)

- ・相談員 1人
- ・開設回数 6回(弁護士来所実施回数:6回)
- ・相談件数(内訳別紙) 42件
- ・広報活動(町お知らせ版等) 毎回

8 生活困窮世帯及び身体障害者世帯等への、資金貸付制度の活用推進を図ります。

(1) 生活福祉資金貸付事業(福島県社協委託事業)

- ① 通常貸付 緊急小口資金 3件  
教育支援資金 3件

	総額	1, 125, 000円
② コロナ特例貸付	緊急小口	33件
	総合支援資金	24件
	総合支援資金延長	6件
	再貸付	18件
	総額	31, 650, 000円

(2) 生活援助資金貸付事業

- ・生活援助資金 貸付実績なし
- ・不能欠損処理 20件 1, 265, 500円

9 高額療養費支払資金貸付の活用を図ります。

- ・高額療養費 貸付実績なし

10 福祉バス（マイクロバス）及びワゴン車の利用の推進を図ります。

(1) 福祉バス（マイクロバス）の貸与

利用実績 ①	利用日数	24日
②	利用人数	505人
③	走行距離	2, 465km
④	令和3年度末走行距離	80, 424km

(2) ワゴン車の利用 0件

11 基金の造成及び運用を図ります。

(1) 基金運営委員会の開催（令和4年2月14日）

(2) 社会福祉基金の運用

令和3年度	御遺志 87件	1, 200, 000円
	篤志 10件	829, 131円
	利息	1, 095円
合 計		2, 030, 226円

令和3年度取崩額 0円

令和3年度末基金額 33, 691, 787円

(3) 高橋勝明は〜とふる基金の活用

令和3年度取崩額 0円

令和3年度末基金額 83, 770, 000円